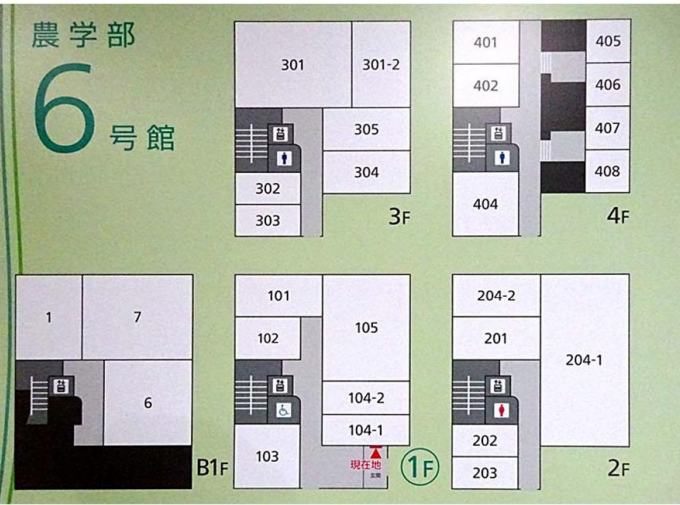


外観



写真は、農学部の中心的な建物である3号館で、建築家内田祥三氏の設計。キャンパスに数多く現存する、戦前に建設された風格のある建物の中で、東京都の歴史的建造物に認定されている。

6号館 案内図



1Fに多機能トイレ、2Fに女性トイレ、3Fと4Fに男性トイレ、フロア別にトイレ機能を分散させて配置している。

6号館3F 男性トイレ



床の清掃性に優れた低リップタイプで壁掛式の自動洗浄小便器を採用。洗面器はカウンター一体形洗面器に自動水栓と石けんをセット。

6号館1F 多機能トイレ



車いす使用者が円滑に使用できる広さを確保した多機能トイレ。L型手すり・はね上げタイプの手すりのほか、座位の安定をサポートする背もたれも設置。

6号館 トイレサイン



透明な円形のアクリル板にデザインされたシンプルなサイン。

6号館2F 女性トイレ 大便器ブース



コンパクト設計で連続使用が可能なフラッシュタンク式大便器を採用。便座は「きれい除菌水」機能により、毎回使用後に、便器表面やノズルの清潔を保つウォシュレット「アプリコット」をセットしている。

6号館1F 緊急シャワー



実習や実験において、万が一、危険な薬品を浴びてしまった際に、ただちに洗い流せるよう、トイレ前の廊下に緊急シャワーを設置している。

7号館A棟2F 女性トイレ 大便器ブース



メンテナンス性に配慮。異物が詰まったとき簡単に取り除くことができる掃除口付きのフラッシュタンク式大便器を採用。便座は、電池交換の不要な発電式のエコリモコンタイプのウォシュレットPSを設置。

6号館2F 女性トイレ 大便器ブース



防犯の観点から、ブース内に非常呼出ボタンを設置。女性が安心して使えるよう配慮している。

6号館2F 女性トイレ 洗面コーナー



化粧のしやすさにも配慮し、顔に影がでにくい、左右にLED照明がついた化粧鏡を採用。水はねしにくい形状の洗面器には、非接触で衛生的な自動水栓と水石けんをセット。

建築概要

|         |                                          |
|---------|------------------------------------------|
| 名 称     | 東京大学農学部6号館<br>東京大学農学部7号館A棟B棟             |
| 所 在 地   | 東京都文京区弥生1-1-1                            |
| 施 主     | 国立大学法人東京大学                               |
| 設 計     | 6号館：株式会社長大<br>7号館A棟B棟：株式会社小笠原設計          |
| 施 工     | 6号館：株式会社瀧島建設<br>7号館A棟B棟：松本建設株式会社         |
| 竣 工 年 月 | (改修) 6号館：2015年5月<br>(改修) 7号館A棟B棟：2015年3月 |

水まわりの特長

＜施設の概要＞  
東京大学農学部キャンパス(弥生キャンパス)は、大学本部が設置される本郷キャンパスと言間通りを隔てて陸橋でつながった、緑の多い閑静な農学部のメインキャンパスである。歴史を感じさせる主要な建物は、著名な建築家、内田祥三氏の設計。特に3号館は、戦前に建設された風格のある建物で、東京都の歴史的建造物にも認定されている。今回、研究室や講義室・実験室等が入る1号館から7号館の中で、老朽化の進行に対処するため、築38年の6号館、築22年の7号館において、約20年ぶりに水まわりの改修が行なわれた。

＜トイレの特長＞  
6号館は、各フロアごとに男女トイレを分けて設置。大便器はコンパクト設計で連続洗浄可能なフラッシュタンク式大便器を採用。便座は「きれい除菌水」でノズルをセルフクリーニングする機能のついたウォシュレットアプリコットをセット。女性トイレ内には、防犯のため、非常呼出ボタンを設置。さらに洗面コーナーには、化粧直しがしやすい左右にLED照明がついた化粧鏡を設置するなど女子学生へ配慮。また、学部の特徴として、危険な薬品を扱うため、トイレの近くに緊急シャワーを設置している。7号館A棟2Fの女性トイレの一部には、電池交換の不要な、発電式のエコリモコンタイプのウォシュレットPSを採用するなど、省エネとメンテナンス性にも配慮している。